

八雲

第47号

(平成22年11月発行)



大東よいとこ祭での生活科学部活動風景

勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんかな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし



巻 頭 言

八雲会会長 景 山 純 孝

大東高校卒業生の皆様方には、今夏の猛暑をいかがお過ごしだったでしょうか。少し秋らしくなりました。ご健勝のこととお喜び申し上げます。

7月10日の八雲会総会で同窓会長に推薦されました景山純孝です。どうぞよろしく願い申し上げます。

前会長角谷雄輔氏は10年の長きにわたり会長を務められ、平成30年に迎える創立100周年の記念行事を成功させるために、同窓会の組織固めに大変な努力をされました。東京、関西、広島、松江支部さらに地元の各支部の活動を盛り上げる為に力を注がれました。八雲会の本部役員も一人を除いて全て新人に入れ替わりしました。

平成30年まで8年ありますから、記念行事に八雲会としてどんな支援ができるのか学校側と相談しながら検討をして行きたいと思えます。

思い起こしますと、9期生として大東高校を卒業したのは、昭和32年3月、まだ高等女学校時代の校舎が残っており、冬季に窓側の席では、建付けの悪いガラス窓の隙間から雪が舞いこんで

きました。だるま型の石炭ストーブでしたから、朝教室が温まるのに時間がかかることと、体育で1時間教室を空けると火が消えており次の授業が非常に寒かったことを思い出します。

卒業してから39年ぶりに母校の校長として赴任しました。なつかしさのあまり校地、校舎を隈なく見回りましたが、当時の面影は校舎の南に東西に延びる黒っぽい石垣と、その上にある巨木に成長したハリエンジュの木だけでした。

部活動が盛んで、男子バレーは代々木の春高バレーに毎年参加し、東京支部の皆さんに応援して頂きました。男子バレーを始め、女子ソフトボール、男女バドミントン、男女空手は毎年インターハイに参加していました。この伝統は今も続いており頼もしく思っています。

少子化で入学生の定員割れが時々おこり気になります。若い後輩達の頑張りにこれ以上クラス減が生じたりしないよう八雲会の支援が必要だと思います。



八雲会の三十年を振りかえって

八雲会前会長 角 谷 雄 輔

今年の夏は大変な暑さとなり我々高齢者には大変厳しい夏となりましたが、皆様には変わりなくご健勝のことと存じます。

さて、私は7月の総会で会長を退任しました。5期10年にわたり皆様のご支援とご協力を頂いたお陰と心から感謝しております。

理事、監事を併せると30年になりますが、私を八雲会に誘って頂いたのは二代目会長の小山喜代一さんでしたが、この方は戦後女学校から高等学校となり生徒数の増加に伴いグラウンドだけでも4～5回に亘る拡張と、他に校舎増築に伴う土地の取得などで大変な功労者ですが、後を頼むとは一言もありませんでしたが、その役目を私に求められたと感じていました。

最初は現在ソフトボールとテニス場になっている、グラウンドの土地取得が最初の役目となりましたが、これはその後グラウンドを挟む参道の土地を巡って町と宮司の間で永らく紛糾しました。

当初（昭58年5月）地権者には参道の話はありませんでしたが、8月の期成同盟会で念願の武道場の土地取得の見通しが立たないのでグラウンドの東側に格技場を建て、250mのトラックを確保するために参道を取得したいと提案されました。ある委員から参道など取得できるかとの問いに大東町は進めたいと答弁がありました。

しかしこの話は町内に一気に広がり氏子を中心に賛否をめぐり論争になりましたが、神社に対する申し入れは翌年の1月まで放置され、感情問題となり解決を長引かせることになりました。私は格技場の土地を他に確保しグラウンドをそのまま残すしかないと判断し、何度も交渉を重ね諦めかけた頃にやっと地主の同意を取りつけることができました。

この外にグラウンドの東側つまり正門の反対側の角が欠けていたのを地主の同意を得て現在は真四角のグラウンドとなっています。

また昨年は10年以上休眠状態だった関西と松江の両支部が活動を再開しましたが、これは関西は高橋潮氏、松江は富山哲夫氏のご尽力あつてのことで改めて紙面を借りお礼を申します。

今後も学校は再編問題、百周年を始め多くの問題を抱えています、幸い新会長は母校のことに

は大変詳しい方なので、会長を中心に会員が一丸となって頑張らしましょう。



八雲会会員の皆様へ

校長 河原 一郎

八雲会の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。本校の教育活動につきまして平素から様々なご協力と支援を頂き有り難うございます。

ご存じの通り、昨年度から3年間かけて耐震補強、改修、新築、バリアフリー化等を行っています。既に、耕心寮の解体、部室等の新築が終了し、現在は5棟の新築に向けての工事が始まっており、来年度には、完成する予定です。

部活動では、高校総体の男女総合で、Bグループ2位、全体を通すと12位という結果でした。各部とも大変活躍しましたが、中でもバトミントン部（男女）・空手部（女）は県代表として沖縄インターハイに出場しました。中国大会には上記の2つの部以外にもバレー部（男）・ソフトボール部・剣道部が出場しました。また、文化部でも美術と将棋が県代表として宮崎での全国高等学校総文祭に出場するなど大いに活躍しています。

9月には、第63回織部祭を行いました。生徒

会を中心として新しい試みなどを取り入れ、テーマ「こぎゃん季節はのぼせらい」の通り、体育祭では途中で豪雨もありましたが、大変盛り上がったものになりました。保護者や地域のたくさんの方々にも見に来ていただきました。ありがとうございました。

こういった活動状況については、今年度から特にHPをタイムリーに更新し、最新の状況載せていますので、是非ご覧いただきたいと思ひます。

また、平成30年の100周年に向けて、学校としても今まで以上に魅力と活力ある大東高校づくりに努めているところですが、八雲会の活動も地元及び広島支部はもちろん、2月には松江支部、4月には関西支部がそれぞれ復活の支部会を開催し、関東支部会も5月には例年の数倍の参加者で開催されるなど各支部の活動も活発になり、参加させていただいた私も大変うれしく思ひました。今後とも、より一層大東高校とともに八雲会が発展することを祈念し、ご挨拶と致します。

八雲会の皆様へ

八雲会事務局長 教頭 児玉 諭

八雲会の皆様には、平素より本校の教育活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

私が本校に赴任して約半年がたとうとしています。その間、八雲会の皆様とは何度かふれあう機会があり、その度に皆様の大東高校への思いを感じることができました。その熱意と意識の高さに敬意を表したいと思ひます。

7月17日（土）には、八雲会広島支部総会に参加してきました。JR広島駅近くのホテルニューヒロデンにて23人の出席で行われました。富久支部長様をはじめとし、皆さん終始和やかに旧交をあたためておられました。ただ、残念なのは、若手の出席者がなく、ほとんどの方が私より年上であります。会を継続し、発展させていくため

には、若い力が必要だと思ひます。若手、中堅の方の参加を切に望みます。

卒業生会はこの学校にもありますが、その活動は様々です。本校のように、積極的に活動していただける学校は多くはないと思ひます。感謝申し上げます。

現在、学校と家庭及び地域との密接な連携が求められ、力を合わせて、問題に立ち向かっていかなければならない時代です。卒業生会は、そのコーディネーターとして、ますます重要な役割となっていくと思ひます。学校としても全力で取り組んでいきたいと思ひますので、一層のご協力をお願いいたします。

関西支部会報告

晴天の4月10日(土)に、八雲会関西支部会が新大阪駅前のニュー大阪ホテルで開かれました。高橋様をはじめ多くの関西在住の皆様のご努力と前年度教頭の安田先生のご尽力により、写真のように50名を越す皆様が多用途にも関わらずおいで下さいました。

本校からは、角谷(前)会長、河原校長、門脇の3名が出かけ、会長挨拶・校長挨拶・学校近況報告を行い、支部長様の挨拶の後懇親会となりました。

和やかな雰囲気の中で昔話や大東のローカルな話題が多かったように思います。また、パワーポイントの中の写真で、「この前から○番目の左か

ら△番目は、俺だ!」などの声もあがり、盛り上がった場面も多々ありました。また、私より若い方の出席もあり、個人的にその方の名前などを聞く内に、十数年前に勤務していた学校で教えた生徒のお姉さんであることが分かり、「妹さんはどうしちよらいますか?」など出雲弁まる出しで話ができ、不思議なご縁を感じました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、集まった皆さんで写真撮影などしました。

来年再来年と、ご出席の方が増えれば、お互いに良いネットワークができるなあと感じ大阪を後にし、大東に帰ってきました。



平成22年度 八雲会総会報告

平成22年度八雲会総会が、7月10日(土)14時30分より、雲南市大東公園体育館大研修室で開催された。今年度は役員改選年にあたり、5期10年にわたり会長をお務めいただいた角谷雄輔氏のご勇退、後任の会長に、高校9期で元本校校長の景山純孝氏が満場一致で

選出された。また、通常の、前年度事業報告及び一般会計、名簿会計の決算報告、今年度事業計画、各会計の予算報告に加え、実情にそぐわない部分を一部削除、もしくは改定し、役員会で承認を受けた「卒業生会慶弔内規」についての報告もなされた。校長挨拶では、現在進行中で、平成23年11月完工予定の学校整備事業の進捗状況について図面を使いながら説明がなされた。議事終了後、1時間弱にわたり小河内社中による神楽公演があり、「悪切り剣舞い」「簸の川大蛇退治」の各演目が上演されて、参加者一同見事な舞に魅了された。「悪切り剣舞い」はすべての参集者から災禍を払い除く舞とのことである。今年度は総会、その後の懇親会とも出席者が例年の1.5倍程度(総会出席者約80名)あり、近年にない盛り上がりを見せ、100周年に向け良いはずみをつけることができた。



八雲会 平成21年度事業報告と 平成22年度事業計画

平成21年度 事業報告

- 5月14日(木) 第1回校内幹事会
(役割分担、事業報告・計画、
決算、予算、役員会)
- 5月27日(水) 関東支部会(会長、校長、教頭)
- 5月30日(土) 大東支部会(青木)
- 6月3日(水) 第2回校内幹事会(役員会)
- 6月10日(水) 監査会、役員会
(決算、予算、事業、総会)
- 6月29日(月) 第3回校内幹事会(総会)
- 7月11日(土) 八雲会総会

演題 「エンジョイふるさと」

講師 FM山陰パーソナリティ

密着型(立脚) 冊会報告 小片 悦子氏

- 7月18日(土) 広島支部会
(校長、教頭、安部大東支部理事)
- 10月3日(土) 関西支部会(会長、校長)
- 10月25日(日) 阿用支部会
- 10月下旬 会報「八雲」第46号発刊
- 11月26日(木) 春殖支部会(門脇)
- 11月26日(木) 海潮支部会(青木)
- 12月9日(木) 加茂支部会

平成22年

- 2月2日(火) 第4回校内幹事会(入会式)
- 2月6日(土) 幡屋支部会(梶谷)
- 2月14日(日) 久野支部会
- 2月15日(月) 松江支部会
(会長、校長、景山副会長)
- 3月1日(日) 第62期八雲会入会式

平成22年度 事業計画

- 4月10日(土) 関西支部会(会長、校長、門脇)
- 4月27日(火) 第1回校内幹事会
(役割分担、事業報告・計画、
決算、予算、役員会)
- 5月17日(月) 監査会、役員会
(決算、予算、事業、総会)
- 5月25日(火) 関東支部会(校長)
- 6月1日(火) 第2回校内幹事会(総会)
- 6月3日(木) 選考委員会
- 6月16日(水) 第3回校内幹事会(総会)
- 7月1日(金) 大東支部会
- 7月10日(土) 八雲会総会

出雲太社教 神代神楽 小河内社中公演

支部長 新田 和徳氏 ほか

- 演題 (1) 悪切り剣舞
(2) 簸の川大蛇退治

- 7月17日(土) 広島支部会(教頭、高橋)
- 11月上旬 会報「八雲」第47号発刊
- 月 日() 阿用支部会()
- 月 日() 春殖支部会()
- 月 日() 加茂支部会()
- 月 日() 海潮支部会()
- 月 日() 宍道支部会()
- 月 日() 久野支部会()
- 月 日() 幡屋支部会()
- 月 日() 松江支部会()
- 月 日() 木次支部会()
- 月 日() 塩田支部会()
- 月 日() 佐世支部会()

平成23年

- 2月 日() 第4回校内幹事会(入会式)
- 3月1日(火) 第63期八雲会入会式

平成21年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	1,266,000	1,226,500	▲ 39,500	250円×4,906人
繰越金	2,300,650	2,300,650	0	前年度繰越金
返還金	400,000	400,000	0	90周年記念事業会計より返還金
雑収入	850	7,664	6,814	預金利息、過年度分入会金
合計	3,967,500	3,934,814	▲ 32,686	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	850,000	493,157	▲ 356,843	
会議費	450,000	207,907	▲ 242,093	役員会、総会経費
旅費	200,000	200,040	40	支部会出席旅費
通信費	100,000	33,340	▲ 66,660	郵券代等
事務費	100,000	51,870	▲ 48,130	事務用品代等
事業費	1,600,000	1,152,055	▲ 447,945	
八雲発行費	900,000	564,055	▲ 335,945	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	480,000	▲ 120,000	関東、関西、広島、松江、大東、幡屋、阿用、春殖、久野、海潮、加茂
入会式	100,000	108,000	8,000	入会記念品(証書入れ、ハンドタオル)
雑費	100,000	35,015	▲ 64,985	支部一覧表代等
繰り出し金	0	0	0	
予備費	1,417,500	0	▲ 1,417,500	
合計	3,967,500	1,680,227	▲ 2,287,273	

特別会計(積立)決算書

平成20年度末残高	4,070,159円
平成21年度利息	1,300円
平成21年度末残高	4,071,459円

(収入総額) 3,934,814円 - (支出総額) 1,680,227円 = (差引残額) 2,254,587円・・・平成22年度へ繰越

平成21年度 大東高校八雲会名簿会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
名簿代	93,120	78,280	▲ 14,840	前年度未納 20冊分
繰越金	2,646,013	2,646,013	0	
雑収入	867	979	112	預金利息
合計	2,740,000	2,725,272	▲ 14,728	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
名簿発刊業務費	344,000	322,876	▲ 21,124	
調査メンテナンス業務費	30,000	0	▲ 30,000	
名簿発刊業務費	309,000	317,100	8,100	3年生分 2,100×151
仕分発送業務費	5,000	5,776	776	各種発送費、後納料金等
予備費	2,396,000	0	▲ 2,396,000	
合計	2,740,000	322,876	▲ 2,417,124	

(収入総額) 2,725,272円 - (支出総額) 322,876円 = (差引残額) 2,402,396円・・・次年度へ繰越

平成22年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	1,242,000	1,266,000	▲ 24,000	3000円×414名
繰越金	2,254,587	2,300,650	▲ 46,063	前年度繰越金
雑収入	413	850	▲ 437	預金利息
返還金	300,000	400,000	▲ 100,000	90周年記念事業会計より返還金
合計	3,797,000	3,967,500	▲ 170,500	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	900,000	850,000	50,000	
会議費	450,000	450,000	0	役員会、総会費
旅費	250,000	200,000	50,000	支部会出席等旅費
通信費	100,000	100,000	0	郵券等
事務費	100,000	100,000	0	事務用品代等
事業費	1,650,000	1,600,000	50,000	
八雲発行費	900,000	900,000	0	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	600,000	0	関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田支部
入会式	150,000	100,000	50,000	入会記念品
雑費	100,000	100,000	0	慶弔費、シール代等
予備費	1,147,000	1,417,500	▲ 270,500	
合計	3,797,000	3,967,500	▲ 170,500	

特別会計(積立)予算書

平成21年度末残高 4,071,459円
 平成22年度利息 1,541円
 平成22年度末残高見込額 4,073,000円

平成22年度 大東高校八雲会名簿会計予算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
名簿代	0	93,120	▲ 93,120	
繰越金	2,402,396	2,646,013	▲ 243,617	
雑収入	604	867	▲ 263	預金利息等
合計	2,403,000	2,740,000	▲ 337,000	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
名簿発刊業務費	242,000	344,000	▲ 102,000	
調査メンテナンス業務費	0	30,000	▲ 30,000	
名簿発刊業務費	241,500	309,000	▲ 67,500	今年度卒業生発刊分 2,100円×115名
仕分発送業務費	500	5,000	▲ 4,500	
予備費	2,161,000	2,396,000	▲ 235,000	
合計	2,403,000	2,740,000	▲ 337,000	

平成22年度～23年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上朋良	高3	副会長	安原重隆	高11	監事	岩田松子	高7
	角谷雄輔	高7		太田多美子	高13		増田敏男	高10
会長	景山純孝	高9		金築映次	高14		上代貫一	高15
				河原一朗	校長			

【理事】

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期	
大東	井上禧宏	高13	久野	堀江善彦	高23	宍道	渡部清美	高27	
	渡部ミドリ	高3		長沢正也	高26	松江	林透	高18	
	太田拓志	高13		長妻賢二	高32		八幡憲次	高19	
	安部幸治	高24	塩田	黒川弘義	高18	広島	富久禮識	高6	
春殖	森脇誠夫	高10	佐世	福間正明	高13	関東	関西	広木益夫	高16
	門脇勝	高13	幡屋	森山武史	高25		奥田勲	高10	
	門脇廣	高19		山崎英志	高29		野々村興太郎	高10	
海潮	木村晋吾	高27	加茂	金築映次	高14		林幸雄	高13	
	安達茂	高13		安部操	高15				
	塩野紀富	高9		岸本邦夫	高19				
木村昭憲	高17	高橋一裕		高28					
阿用	景山源栄	高15		斉藤雅孝	高28				
	荒木貞治	高9		畑宏明	高29				
	朝日幸子	高16	加納忠夫	高31					
	永瀬康典	高18	木次	佐藤弘之	高23				

【代議員】

役職	氏名	期	役職	氏名	期	【八雲会支部長】 大東支部 井上禧宏 幡屋支部 森山武史 海潮支部 安達茂 阿用支部 景山源栄 佐世支部 福間正明 春殖支部 門脇勝 久野支部 堀江善彦 塩田支部 黒川弘義 加茂支部 金築映次 木次支部 佐藤弘之 宍道支部 渡部清美 関東支部 奥田勲 関西支部 広木益夫 広島支部 富久禮識 松江支部 林透
大東	糸川栄一	高19	久野	上代英治	高29	
	狩野泰秀	高20		三澤郁穂	高35	
	小山益男	高20	塩田	安達隆垂	高42	
	石川辰子	高23	佐世			
	狩野恵子	高24	幡屋	本多昭人	高21	
山本司	高32	山崎達夫		高24		
横山美昭	高20	舟木忠夫		高24		
春殖	糸原優二	高33		田中互	高37	
	田中久志	高33	加茂	竹村治美	高17	
	新田昭隆	高15		錦織直行	高19	
海潮	岩田和義	高19		吉岡敏隆	高27	
	福間広明	高20	松江	岩橋弘政	高18	
	宮川稔	高27		細木勝美	高18	
阿用	陶山隆之	高17	広島	勝部省三	高13	
	細木康史	高19	関西	高橋潮	高10	
	木色薫	高20				

大東高等学校事務局長 児玉 諭 教頭		TEL(0854)43-2511 FAX(0854)43-2512	
幹事長 梶谷 治代 高28	幹事 青木 愛治 高18	幹事 高橋 隆正 高32	幹事 小山美紀子
幹事 梅木 修二	幹事 門脇 康文 高39	幹事 岩田佳菜江 高58	

よろしくお願ひします。

卒業生寄稿

私と娘の大東高校

第28期(S51年卒) 景山 慶子(旧姓 今岡)

三人娘の末っ子が進学する高校を決めた時のことです。姉二人は、別の高校に進んでいたため、三女から「大東高校に行きたい。」と聞いた時は、思わず心の中でガッツポーズ！にんまりしたことを覚えています。

娘が入学して面談、体育祭、文化祭、部活の保護者会等、何回も足を運んだ大東高校ですが、お邪魔するたびに35年も前の高校時代が懐かしく思い出されました。

私と娘の高校生活はずい分異なっていましたが、ただ一つ共通していることがありました。二人とも将来の夢が大東高校で決まったということです。私の場合は、将来の夢が特にこれといってなく、志望校を決めるのに困っていた3年時に担任の先生から勧められた職をそのまま迷うことなく目指し、その職に就くことができました。「おい、お前〇〇〇〇にならんか?」「〇〇〇〇ですか～? いいかも。じゃーそうします。」今、思い出しても本当に短い時間で、迷わず簡単に自分の将来を決めてしまった気がします。でも、その先生の勧めがなかったら、一度も後悔したことのないこの職には就いてはいなかったと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。そして今、先生方のおかげで我が子も大東高校で何故か私と同じ職を目指し進路を決めました。不思議な縁を感じずにはられません。

娘は、高校生活の大部分を部活のマネージャーとしてそれなりに充実した忙しい日々を送っていましたが、私は部活には入らず、もっぱら放課後は友達とのおしゃべりに花を咲かせていました。お互い時間の使い方は違いましたが、大東高校は充実して楽しかったことも共通しています。それは、その頃の私と娘の弾けんばかりの笑顔の写真が物語っています。

娘の卒業で足を運ぶこともなく遠くから眺めるだけになった大東高校。さあ、次は孫が通うのを楽しみにしたいものです。

「母校の思い出」

第32期(S55年卒) 景山 博司

私達32期(昭和54年度)卒というと、大東町民野球場やグリーンシティーが出来て間もない頃、また、鳥根で始めて開催される「くにびき国体」の準備などで活気溢れる中での高校生活でした。

卒業後30年が過ぎ記憶も曖昧になっている部分もありますが、夜なべして完成した体育祭のデコレーション、のぼせてやった屋内外での球技大会、大変くたびれた断郊走歩、また、友との思い出はもとより個性豊かな先生方に厳しく(痛かったゲンコツ)そして懐広く(イケズを温かく見守ってくださいました)指導していただいたことは、思い起こせば次から次へと甦ってきます。

中でも、4キロメートル程の自転車登校は、耳を刺すような冷たい空気がふっと柔らかくなったことに春を感じ、部活後でへろへろな自分を元氣付けてくれた蛍の乱舞、夏は干草の香りや冬には容赦ないみぞれ混じりの北風など四季を体全体で感じる事ができた非常に良い経験でした。

そして何より一番なのが野球部での活動です。涼しい季節は元氣はつらつでしたが、暑い時期の練習は本当にきつかった。練習試合後の罰ゲームでは松江商業から大東までのランニング、三刀屋高校から自転車で20分以内に高校必着とかもやりました。残念ながら上位大会への夢は叶いませんでしたが、私の青春が大東高校のグラウンドの上だったことは紛れもありません。

こうした思い出深い勝田の森の学び舎に、時を経て3人の子供も進学してくれました。誠実・勤勉・高邁の校訓のもと文武両道を貫くこの大東高校生活を十分に満喫していること、人間力形成の基盤が同じ母校であることをとても嬉しく思うと同時に、八雲会会則にある「母校を中心として郷土の文化の向上に寄与する」ことの重要性を再認識しているところです。今後も、母校の末長いサポーターとして応援していきたいと思えます。

最後になりますが、八雲会の皆様様がご健康で益々ご活躍なされること、大東高校の発展をお祈り申し上げます。

部活動の思い出

第56期(H16年卒) 大倉 優実

8月に入り、連日の暑さ。この暑さで、つい最近のことにように私の暑い夏を思い出します。今年の全国高校総体は沖縄で開催され、後輩の空手道部の女子が出場しました。私は応援に行くことは出来ませんでしたが、出場した監督や選手たちの話を聞き、平成15年度に長崎で開催され、出場した全国総体のことを思い出しました。あの年も猛暑が続き、長崎は特に暑く感じられました。私にとって高校最後の全国大会であり、体調も良く、自信もあり、そして何よりも最高の仲間にも恵まれた大会でした。

私は父の影響で小さい頃から空手に親しんでいましたが、回りの空手道部の仲間は高校から始めた人が殆どでした。ですが、2年生になると私も頑張らないと追い抜かれそうな雰囲気での部活動でした。キャプテンになってから一度とても大きなスランプに陥ったことがありました。そんな時には、部の仲間たちに「優実なら大丈夫だよ、真っすぐ突いたら絶対に一本取れるから。」と励まされ、毎日1,000本を目標に上段突きを練習しました。

そのような日々の地道な練習が実り、次の大会では一本一本を確実に取ることが出来、優勝することができました。それからは自信を取り戻すことが出来、県総体優勝、中国大会2位、そして長崎全国総体では団体戦で、県内の空手道部で初めて全国ベスト16に入り、好成績を残すことができました。

その時の思い出は今もずっと心に残っています。一日、一日、一瞬、一瞬を大切にして練習や勉強に打ち込むことで、ずっと一生付き合っていける仲間が出来、そしてすてきな思い出も沢山できると思います。これからも大東高校空手道部の後輩達の、そして母校の生徒の皆さんの活躍を願いつつ、いつまでも応援していきつもりです。

今も変わらないもの

第58期(H18年卒) 小田川泰之

大東高校を卒業してもうすぐ5年。今当時のことを振り返ってみると勉強もろくにしないで部活に明け暮れていた自分、部活が終われば受験勉強そっちのけで友だちと遊んでいた自分を思い出します。しかし、そんな高校生活が私に多くのことを教えてくれました。

当時私は、バレーボール部に所属しており、キャプテンまでさせて頂きました。辛くて厳しい練

習の毎日で、正直嫌になってしまうことも多くありました。しかし、一つの目標に向かって辛いことにも耐え、頑張ることの大切さを学ぶことができました。また、バレーボールを通して仲間と支え合うことの大切さ、時にはお互いに意見をぶつけ合うことの大切さを知ることができました。そしてその中から本当の信頼関係が生まれるということを知ることができました。当時は一日一日が一生懸命で、そこまで考えた記憶は全くありませんが今になって「自分は本当に良い経験を沢山させてもらってきたんだな」と感じる事ができるようになりました。当時お世話になった先生方、一緒に頑張った仲間たち、そしていつも支えて下さった保護者の皆様に深くお礼申し上げます。

振り返ると全く文武両道が出来ていなかった私ですが、部活を通して目標に向かって頑張ることの大切さ、友人との出会いを通して仲間を作ることの大切さ、存在の大きさを知ることができたと思います。現在、私は人の命を預る医療の現場の中で仕事をしており、まだ社会人一年目の私は戸惑う事ばかりです。しかし、高校生の頃からの夢をあきらめずに頑張りを続けたことで今こうしてやりたい仕事をする事ができていると思います。そう考えると高校生の頃の気持ちが今の自分に繋がっているんだと感じます。そしてこれから先もその気持ちを持ち続けていかなければならないと改めて感じました。これからも大東高校には夢と希望を抱いた多くの若い後輩たちが入学し、そして卒業していくと思います。彼らには、是非何か一つでも良いのであきらめずに頑張れるものを見付けて欲しいと思います。そして彼らのお手本にもなれるよう私自身もより高みを目指して努力していこうと思います。

最後になりましたが、大東高校の益々の御発展をお祈りいたします。

かけがえのない思い出 ~そしてこれから~

第62期(H22年卒) 安部 亮

大東高校で過ごした3年間は、決して忘れることのない最高の毎日でした。高校生活のほとんどは部活動の野球に力を入れてきました。野球部で最後までやり遂げられたことは、私にとって一番の財産です。私が野球を続けられたのも多くの方々の支えがあったからこそ、毎日野球に打ち込むことができました。その方々に対し感謝の気持ちを持つことがいかに大事がわかりました。また、私はチームのキャプテンを任されました。決断力もなく、いつもおどおどしていた私を助けてくれたのは仲間でした。特に同級生の仲間には、毎日助け

てもらいました。この仲間はこれからも一生付き合っていきたい最高の仲間です。

部活動以外にも織部祭も1～3年生が一つとなって大きなことをやり遂げることができました。生徒が主体となって作り上げた3日間は最高の思い出になりました。

野球部も引退し織部祭も終わり、いよいよ3年間で一番辛く、一番長かった受験勉強シーズンが到来しました。それまでテスト勉強以外で、ほとんど勉強をしていなかった私にとっては、たった2時間だけ机にとらめっこする作業もつらかったです。今まで、野球の自主練習で暗くなるまでグラウンドに残っていたのが、場所が変わり自習室で暗くなるまで鉛筆を動かしていました。ここでも受験仲間と一緒に頑張ってきたことは、今となってはいい思い出です。また途中で勉強に嫌気がさすと、体操着に着替えグラウンドや体育館に行き、思いっきり体を動かしていたことを思い出します。受験前の時期になり、私たちの受験の面接の練習や、志望理由書の添削などを夜遅くまで付き合っていた先生方には、とても感謝しています。個人的には、受験には失敗してしまいましたが、面接のやり方など指導してもらったことはこれからのあらゆる所で生かしていけると思います。

現在私は、千葉県私立大学で教師を目指して日々努力しています。全寮制で規則の厳しい大学ですが、寮にいる全員が教師を目指す仲間であり、ライバルであるのでとてもいい環境だと思っています。どんな環境でも、全てのことに全力で挑戦していくスタイルは崩さず、私らしく頑張っていくと思っています。

最後に読みにくい文章だったと思いますが最後まで読んでいただきありがとうございました。

大東高校での出会い

第62期(H22年卒) 西山 明子

「また帰って来た時には会おうね!!」

先日の夏休みに地元へ帰省した時、高校時代に仲の良かった友人達と久しぶりに再会した帰り際、そう言って笑顔で別れを惜しみました。

大東高校を卒業して半年が経ちましたが、高校時代の友人達とは、相変わらずよく連絡を取り合っています。“友達は一生物”と言いますが、高校生活を共に過ごした友人達は本当にその通りです。私の高校生活を振り返ると、いつも周りには友人がいて、授業、部活、行事をはじめ、常に友人と支え合ったり助け合い、時にはぶつかり合いながらも、お互いを高め合い、成長していくことができました。大東高校では、そんな一生付き

合っていきたいと思える友人と、沢山出会うことができました。

高校生活が充実していたのは、友人だけのおかげではありませんでした。勉強や進路の相談を、親身になって聞いて下さった先生、たわい無い生徒の話や、悩みなどを聞いて下さった先生…大東高校の先生は、生徒のことを考えて下さる良い先生ばかりでした。そして、登下校中に、「おはよう」「お帰り」などと、家族のように声をかけて下さる地域の方々など、高校生活は本当に沢山の方々に支えられ、見守られていたからこそ、充実した過ごしやすきものであったと思います。

私は今、関西の方の大学で勉強をしています。新しい環境、新しい友人と、慣れないことも多く大変です。そんな中で、大東高校で過ごした何気ない毎日が、とても幸せであったことを実感します。これから先、今まで以上に辛く大変なことがあるかもしれませんが、どんな時も大東高校での思い出を支えに大東高校の卒業生であることを誇りに、くじけることなくしっかりと前に進んでいきたいです。

最後になりましたが、これからも母校大東高校の更なる発展を願っています。

追う手で

第62期(H22年卒) 安部 伸也

忙しい。これはこの夏、私が毎日口にしたであろう言葉である。学部の研修、部活、バイト、課題…。今年の夏のスケジュールは夏が始まる前に一気に埋まった。空けていた日すらも過ごしていくうちに予定が立ち、埋まっていった。

え、それって辛いのか？ 苦しいのか？ 止めたいのか？ 否、そんなことは全くない。楽しすぎる。もう、充実しすぎなぐらい。毎日の予定が全部の自分のしたいことだし、自分の為になる。これ以上ないほど毎日が楽しい。過去に遡って考えてみれば、中学生のときは「何に成りたいの？」何度も聞かれ、高校生のときは「そこで何を学びたいの？」何度も聞かれて、そこで自分の「したい」と思えることがはっきりしていたのだと今になって思う。そして、その「したい」を今実践している。

自分の認識では大学は、やりたいことができるところだ。それを楽しさや充実感に変えられるかは自分次第なのだ。と大学生になった今実感している。

最後に以上に関連させ、私の感動した友人の言葉を引用させていただこう。忙しい日々を追われるのが嫌なら、忙しい日々を追えばいいじゃない。うん、いい響きだ。

耐震補強及び 校舎改築が進行中です

平成21年6月より耐震補強工事に伴う校舎改築事業が始まり、平成21年には第1体育館の耐震補強工事が完了しました。本年度より校舎工事も開始し、24年3月末に完了予定です。

工事進行状況は以下のとおりです。写真と一緒にご覧になってください。

1棟外壁工事

- ①体育館の耐震補強（工事完了）
 - ②第1棟の耐震補強・改築（工事完了）
 - 1階～4階に筋交い設置
 - 1年教室を第3棟3階へ移動
 - 第3棟の家庭科教室・調理室・書道教室を移動
 - 面談室・更衣休憩室・小会議室
（茶道部活動用和室）・生徒会室を新設
 - ③耕心寮取り壊し（完了）
 - ④第2棟3階が耐震強度不足のため3階部分のみ撤去
→ 第5棟新築（視聴覚教室・音楽室・
パソコン教室・男女トイレ）
 - ⑤第3棟内にモザイク教室及びトイレの新設
- *④⑤については11月以降に工事開始予定です。



1棟外壁工事



生徒昇降口バリアフリー化工事



部室新築工事



1棟筋交い工事



耕心寮解体



完成した1棟筋交い



1棟にできた校名板



生徒昇降口



バリアフリー化した1棟への渡り廊下

ぜひ、新しくなった校舎を見にお出かけください！！

新 書道教室



新 家庭科実習室



新 茶道部活用和室



新 調理室



新 部室(校庭)



新 4棟外トイレ



第48回島根県高等学校総合体育大会結果報告（6月）

ソフトボール

1回戦：大東2 - 3 三刀屋

男子バレーボール

2回戦：大東2 - 0 隠岐

準々決勝：大東2 - 0 横田

準決勝：大東1 - 2 松江西

女子バレーボール

大東2 - 0 浜田

大東0 - 2 安来

バドミントン

男子団体 決勝：大東3 - 0 松江北 **インターハイ出場**

女子団体 決勝：大東1 - 3 松徳学院

男子個人 シングルス 山崎 **1位** **インターハイ出場**

井田、舟木 **3位**

ダブルス 井田・野々村 **1位** **インターハイ出場**

山崎・岸野 **2位** **インターハイ出場**

加藤・舟木 **3位**

女子個人 シングルス 小山実 **3位**

ダブルス 小山実・森山 **2位** **インターハイ出場**

小山朋・八幡垣 **3位**

卓球

男子団体 1回戦：大東3 - 1 矢上

2回戦：大東0 - 3 大田

女子団体 2回戦：大東0 - 3 松徳学院

男子個人 ダブルス 佐藤・伊藤（ベスト32）

女子個人 ダブルス 内部・宮中（ベスト32）

剣道

男子団体 2回戦：大東1 - 3 浜田

女子団体 準々決勝：大東0 - 4 出雲商

男女個人 準々決勝に進出できず

バスケットボール

1回戦：大東（50 - 94）松江北

陸上

男子 800M 女鹿田 準決勝進出

ソフトテニス

男子団体 1回戦：大東1 - 2 隠岐

女子団体 1回戦：大東0 - 3 益田東

男女個人 1回戦～3回戦で敗退

空手道

男子団体形 1回戦：大東0 - 5 出雲

女子団体形 決勝：大東3 - 4 松江南

男子団体組手 決勝：大東0 - 5 松徳学院

女子団体組手 決勝：大東4 - 0 松江南 **1位** **インターハイ出場**

女子個人戦 形 細田 準々決勝進出

組手 永瀬 **2位** **インターハイ出場**

西村 **4位**

芝原、山崎、梅 準々決勝進出

【総合得点】 男女総合78点（男子総合42点・女子総合36点）

【順位】 男女総合 Bグループ2位

男子総合 Aグループ13位

女子総合 Aグループ16位

- *第44回（平成18年度）大会 男女総合109点（男子54点・女子55点）
男女総合 Aグループ 10位（敢闘賞） 男子A 11位（敢闘賞） 女子A 8位（敢闘賞）
- *第45回（平成19年度）大会 男女総合84点（男子48点・女子36点）
男女総合 Aグループ 11位 男子A 15位（敢闘賞） 女子A 12位（敢闘賞）
- *第46回（平成20年度）大会 男女総合76点（男子30点・女子46点）
男女総合 Aグループ 15位（敢闘賞） 男子A 21位 女子A 7位
- *第47回（平成21年度）大会 男女総合103点（男子51点・女子52点）
男女総合 Aグループ 9位（敢闘賞） 男子A 9位（敢闘賞） 女子A 7位（敢闘賞）

野 球

第92回全国高等学校野球選手権鳥根大会（7月18日浜山球場）

1回戦 大東5-6松江工業

全国高校総合体育大会の結果(8月)

於：沖縄

バドミントン

男子団体 1回戦 1-3 日章学園（宮崎）
男子個人 シングルス 山崎 1回戦 0-2
 ダブルス 井田・野々村
 1回戦 2-0
 2回戦 0-2
 山崎・岸野
 1回戦 2-0
 2回戦 0-2
女子個人 ダブルス 小山実・森山
 1回戦 1-2 敗退

空手道

団体組手 1回戦 0-5 水城（茨城）
個人組手 1回戦 永瀬 7-7 延長戦で敗退

全国高校総合文化祭宮崎大会出場(8月)

将 棋

小畑 予選リーグ 1勝3敗 敗退

美 術

8月3日(火)～4日(水)

宮崎県民美術館にて絵画鑑賞

宮崎県民文化センターにて講演会に参加

8月5日(木)

JA・AZMホールで交流会に参加

大東高校始まって以来の快挙!

横浜ベイスターズ ドラフト6位指名

大東高校卒業生(第59期) **福山博之君**
(大阪商業大学)

小学校の県優勝投手ではあるが、中学、高校と二塁手として活躍。大東高校では、創部初となる秋季中国大会出場の大役者の一人でもあった。当時は今よりも小柄で、野球センス抜群、そしてチームの誰よりもメンタルの強いファイターという印象が強い。高校2年生までは、2番セカンドというポジションが1番ふさわしかったが、3年生になるとパワーもついてきて3番の中軸を打たせるほどになった。夏の選手権大会の矢上高校戦で打ったホームランは今でも鮮明に覚えている。

是非上のレベルで野球を続けてもらいたいと思ってはいたが、大阪商業大学で投手に転向してドラフトで指名を受けるような選手になるとは正直想像できなかった。だが、時々スポーツ新聞などで彼の活躍を見るたび日増しに注目度が上がっているのに驚いていた。今年の秋季リーグでは、最多の6勝を挙げ最優秀投手賞に輝いた。しかも、相手投手には、高校時代甲子園をわかせた有名な投手や、早々にドラフト候補に挙がっていた投手などがおり、それらと投げ合っただけの6勝なので価値はより高い。

福山君がここまで成長を遂げることができたのは、大学での指導者に恵まれたこともあるだろうが、彼の努力に尽きると思う。一般入試で大学に合格し、懇願して野球部に入部。特待生でも何でもない彼が、打撃投手からエースの座をつかむまでどれだけ努力したか想像を絶する。今後は、このハングリー精神をいつまでも忘れず1軍に定着できるような選手になってもらいたいと切に願う。

大東高校野球部監督 松 林 宏



卒業生の進路状況について

(1) 進路概要 (過去3年間)

	H19年度	H20年度	H21年度
進学	133	119	141
就職	19	18	7
合計	152	137	148

(2) 進学状況 (平成21年度) ()内は過年度卒：内数

	合格者数	進学者数
国公立大学	38(4)	37(4)
私立大学	79(6)	47(2)
公立短期大学	12	10
私立短期大学	8(1)	7(1)
医療系専門学校	18	11
その他の専門学校	37	36

(3) 就職状況 (平成21年度)

	事務	販売	技能職	公務員	計
県内	1	0	4	1	6
県外	0	0	1	0	1
合計	1	0	5	1	7

今春の卒業生の進路状況は左表の通りです。就職者の人数が半減していますが、これはたまたま就職希望者が少なかっただけで、昨秋のリーマンショックの影響はありません。どちらかというと現3年生にその影響が現れていて、県内の製造系企業からの求人が激減しています。

進学に関しては、その傾向は例年とほとんど変わりなく、大学・短大・専門学校を含め、県内および中国地区の学校への進学が大半を占めています。また、志望傾向において、看護・医療（リハビリ）系が最も多く、次いで教育系が多いのも本校生徒の志望傾向の特徴と言えます。

最近の入試の特徴としては、私大・短大・専門学校を受験する生徒の大半が推薦入試やAO入試を利用しているということです。全国の大学入学者数の4割超がAOと推薦入試で入学している現状があり、本校も例外ではないということが言えます。

【進路状況 今と昔】

「10年一昔」などと申しますが、20年、30年と経てば社会情勢も大きく変動し、高校生の進路状況も大きく変化していきます。本校の卒業生の方も自分が高校生であったときとお子様が高中生となられたときと、進路の状況が余りにも異なっていて戸惑われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで【進路状況今と昔】と題して、簡単に述べてみたいと思います。

全国的に見ても18歳人口および高校卒業者数は平成の初め頃をピークに減少の一途をたどっています。しかしながら、大学への進学者はその後も増加してきています。それは下表の大学数の増加にも原因の一つがあります。（短大は国公立を中心に四大化が進み減少の一途）専門学校も含めれば9割近くの高校卒業者が進学しているということになります。

一方で私立大学の4割が定員割れしています。中国地区では6割に達します。外国人留学生の受け入れで定員割れを補充している大学もあります。

そういう状況だからこそ、大学を見極める必要があります。大学での研究内容や就職状況などはもちろんですが、最近では経営状況も見極める必要があります。そして、5年後、10年後の将来を見据えながら、高校卒業後の進路を考えていく必要があります。

推薦入試やAO入試が花盛りですが、大手企業では大卒者の採用試験の面接前に計算問題や漢字テストを課したり、面接時に大学へどんな入試で入学したのかを問う傾向が強まっています。目先のことよりも将来を見据え、確かな学力を身につけていくことが大切であると考えます。

全国の18歳人口を基にした上級学校進学者数 (単位：万人)

	S56年	S61年	H4年	H18年
18歳人口	161	185	205	133
高校卒業者数	142	162	181	117
大学進学者数	41	44	60	60
短大進学者数	18	21	9	9
専修学校進学者数	20	25	30	30

大学数の比較

	S50年	H16年
国立大学	81	83
公立大学	34	76
私立大学	305	534
大学計	420	693
国立短大	31	2
公立短大	48	37
私立短大	434	400
短大計	513	439
合計	933	1,132

編集後記

ご多用にも関わらず、皆様のご高配を頂き、今年度も会報「八雲」をなんとか発行することができましたことを心から御礼申し上げます。さて、来春の旧大原郡地域の中学校卒業生数が今春より39名減（約1クラス分減）ということもあり、今高校で、1名でも多くの中学3年生の皆さんが地元である本校にこられることを切望しております。この地域から多くの若者達が沿線部の学校へ進学されることは、大東高校のみならず、雲南市の衰退にも繋がってきます。八雲会・地域の皆様のご理解となお一層のご支援をなにとぞよろしくお願い申し上げます。